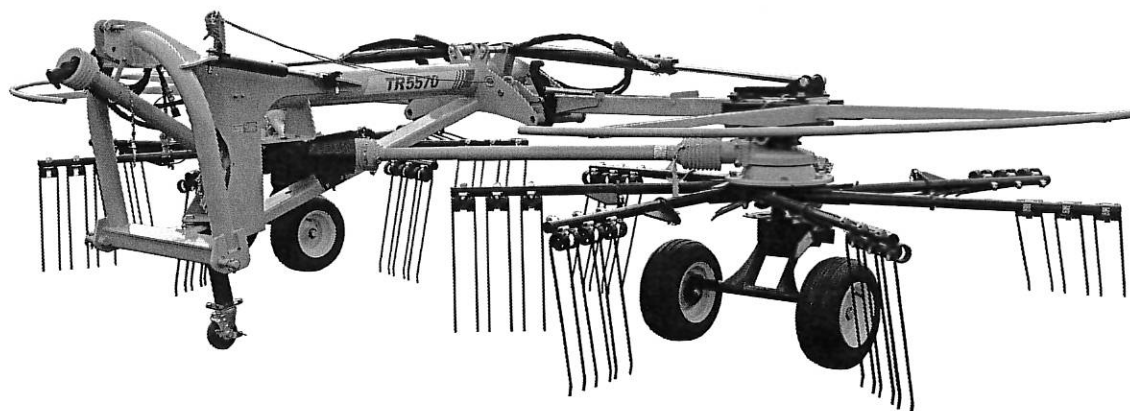


取扱説明書及び部品表

Takakita

ツインレーキ

TR5570



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**ツインレーキ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警告サイン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	8
各部の名称とはたらき	9
トラクタへの装着	12
1. 3点リンケージへの装着のしかた	12
2. ユニバーサルジョイントの取付け	13
3. 油圧ホースの接続	14
4. フロントウェイトの取付け	14
運転に必要な装着の取扱い	15
1. アームの開閉について	15
2. タインの高さ調整	16
3. カムレバーの取扱い	17
4. 作業幅の調整	17
5. 収納時のジョイント位置	18
6. 収納時のタインアームの取扱い	18
作 業 方 法	19
1. 作業手順と要点	19
2. 移動をするときは	20
3. 作業時の調整	20
4. 作業開始	21
5. 傾斜地での作業	21
作業前の点検について	22
点検一覧表	22
簡単な手入れと処置	23
1. ミッション給油	23
2. タイヤの空気圧の調節、及び摩耗、損傷	23
3. 長期格納時の手入れ	23
4. 各部への給油	24
不 調 診 断	26
付 表	27
1. 主要諸元	27
2. 主な消耗部品	27
3. オイル	27

！ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある**！**表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

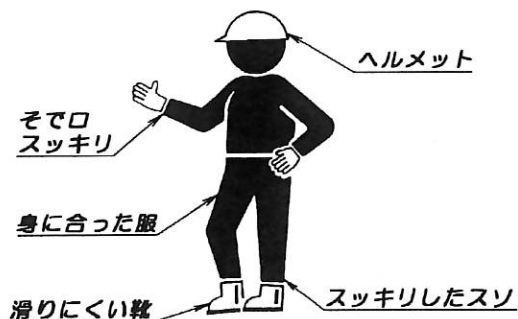
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適応トラクタ馬力と装着方法

型 式	TR5570
馬力 kW (PS)	55.5～88.3 (70～120)
トラクタ質量(kg)	3000以上
装着方法	3点リンク直装式 (カテゴリⅡ) 油圧取出：複動1系統



(4) 装着時の前後のバランス確認

3点リンケージに装着して持ち上げたときに、総重量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。もし、不足するときはトラクタ指定のフロントウェイトを取付けて、20%以上を確保するか、できなければ装着しないでください。



(5) バランスウェイトの取付け

トラクタのバランスウェイトは指定された部分に指定されたウェイト以外は取付けしないでください。

！安全に作業するために

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。

また、改造をしないでください。



(7) 使用目的以外への使用禁止

本機は牧草、稲ワラ、麦稈等の集草作業を目的として作られた機械です。

他の目的には使用しないでください。

(8) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。



(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でPTOを切り、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。

エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



⚠ 安全に作業するために

(6) 注油・給油するときは

P T Oを切り、エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。



(7) タイヤの点検・修理をするときは

①タイヤの空気圧は、規定の空気圧を必ず守ってください。

②空気の入れ過ぎはタイヤ破損の恐れがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。

③タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。

タイヤ破損の恐れがあります。

④タイヤ・チューブ・ホイールなどに関する交換・修理などは十分な整備施設をもち、特別教育を受けた人がいるタイヤショップ等の専門店で依頼してください。



(8) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。



3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

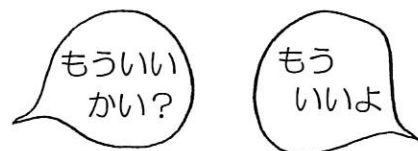


(2) P T O回転中は危険です

回転部には近寄らない、触らないを守ってください。

(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) エンジンを始動するときは

P T Oを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。

守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



⚠ 安全に作業するために

(5) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。

(6) 傾斜地で作業するときは

次のことを必ず守ってください。

①斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。

斜面の作業は、必ず等高線に直角方向に走行してください。

②傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

(7) 回転中のユニバーサルジョイントには触れない

回転しているユニバーサルジョイントに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。



(8) 回転中のロータには触れない

回転しているロータに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。

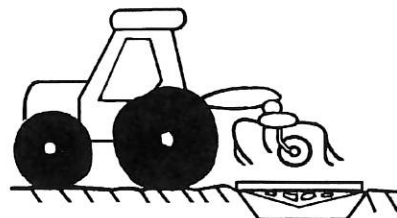


(9) 移動及び旋回するときは

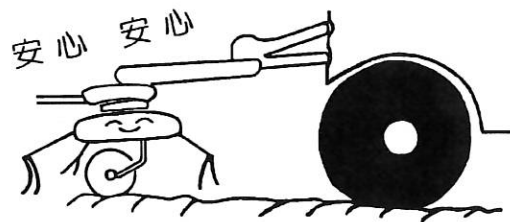
トラクタに本機を装着しての移動やほ場での旋回は、必ずアームを折りたたみ、3点リンケージでリフトアップしてから行ってください。急旋回は危険ですので行わないでください。

(10) 溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



(11) 作業途中で運転席より離れるときは平坦な場所に降ろし、PTOを切り、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛けてください。



(12) スタンドを移動位置にする

移動するときは、必ずスタンドの格納、取り外しを行ってから走行してください。

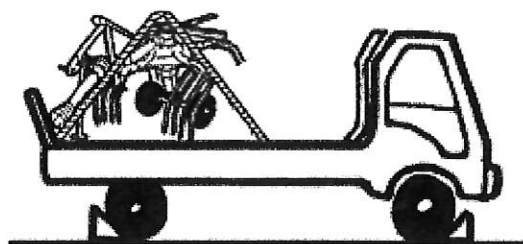
安全に作業するために

4. 道路走行・輸送するときは

(1) トラクタに装着しての公道走行禁止

トラクタに本機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。

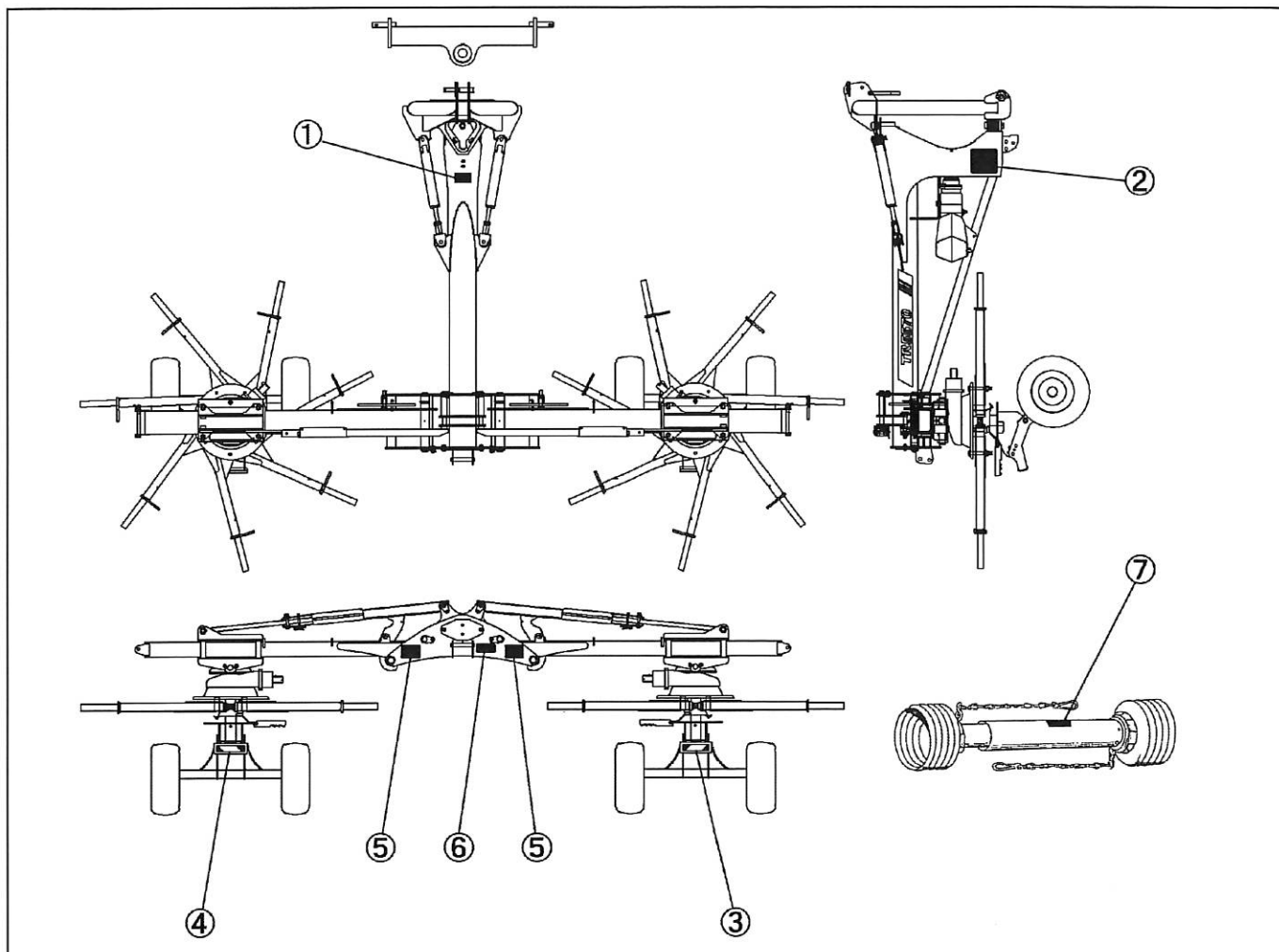
(2) トラックなどへの積み込み・積降ろしは平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。



以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で  印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付け位置



①部品コード 001206002040

②部品コード 001206001961

001206002040

注意

- ・作業時はレバーを必ず「作業位置」にしてください。機体が破損する恐れがあります。
- ・移動時はレバーを必ず「ロック位置」にしてください。ロックしないと機体が左右に振れ、大変危険です。

001206001961

注意

1. 取扱いを誤ると事故や故障の原因となりますので、必ず取扱説明書を熟知するまでお読みください。
2. ラベルが傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、新しいラベルを指定の場所に貼ってください。
3. エンジン始動前に機械の周りに人がいないことを確認してください。
4. 作業中は人や動物を近づけないでください。
5. トラクタから離れるときは、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。
6. 斜面での駐車時は歯止めをしてください。
7. 点検等は必ずエンジンを止めて実施してください。
8. 手、足及び衣服を運動部分に近づけないでください。
9. 道路走行は、道路交通法規を遵守してください。

警告

回転中接近するな。
石などが飛散してケガをするおそれがあります。

回転中接近するな。
触れると巻き込まれ重傷を負うおそれがあります。

③部品コード 001306001040



④部品コード 001306001030

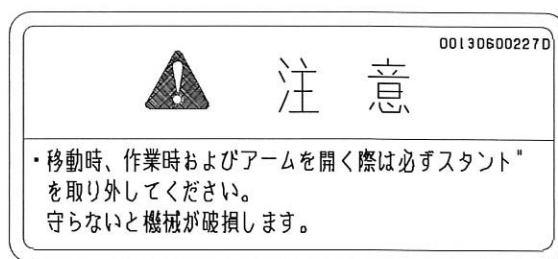


⚠ 安全に作業するために

⑤部品コード 001206002050



⑥部品コード 001306002270



⑦部品コード 001306951010



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないようにしてください。また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、牧草、稲ワラ、麦稈等の集草作業にご使用ください。

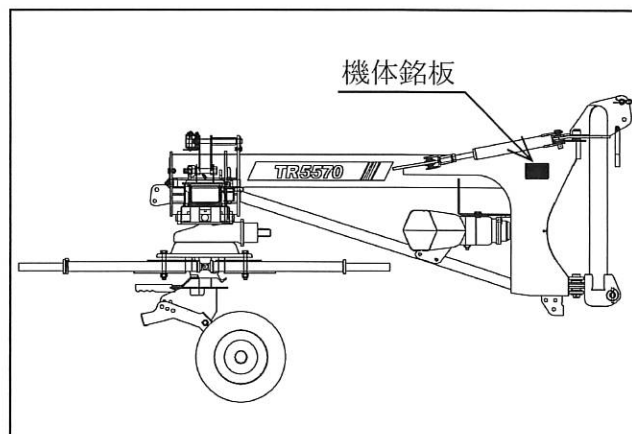
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

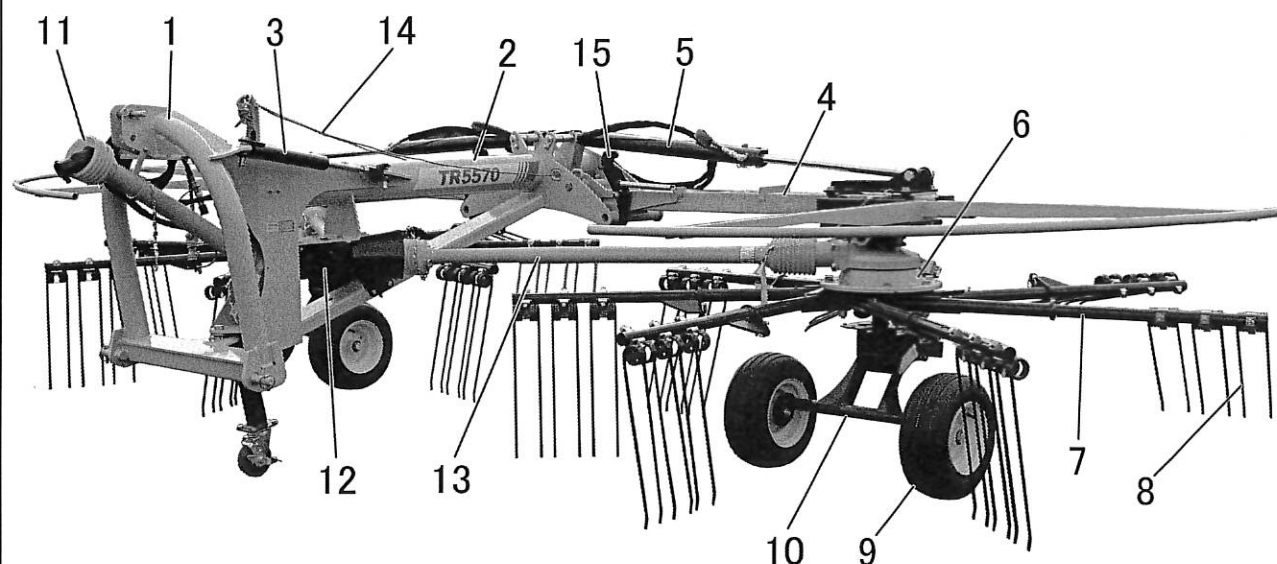
- 品名と型式
- 機体 No. (SER-No.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用後)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	ツインレーキ
型 式	TR5570
機 体 No. (SER-No.)	
購入年月日	年 月 日
販売店名	TEL : ()

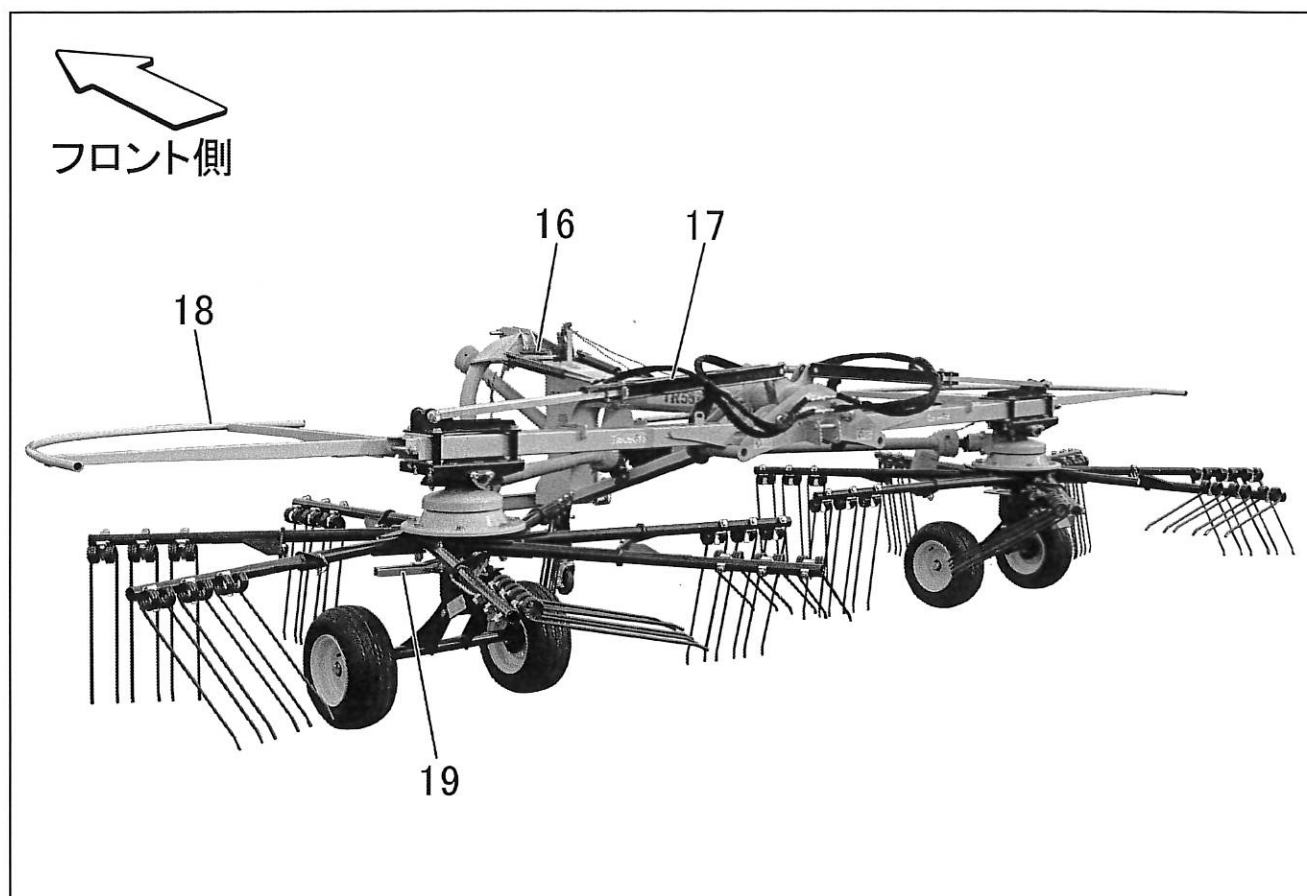
各部の名称とはたらき




フロント側

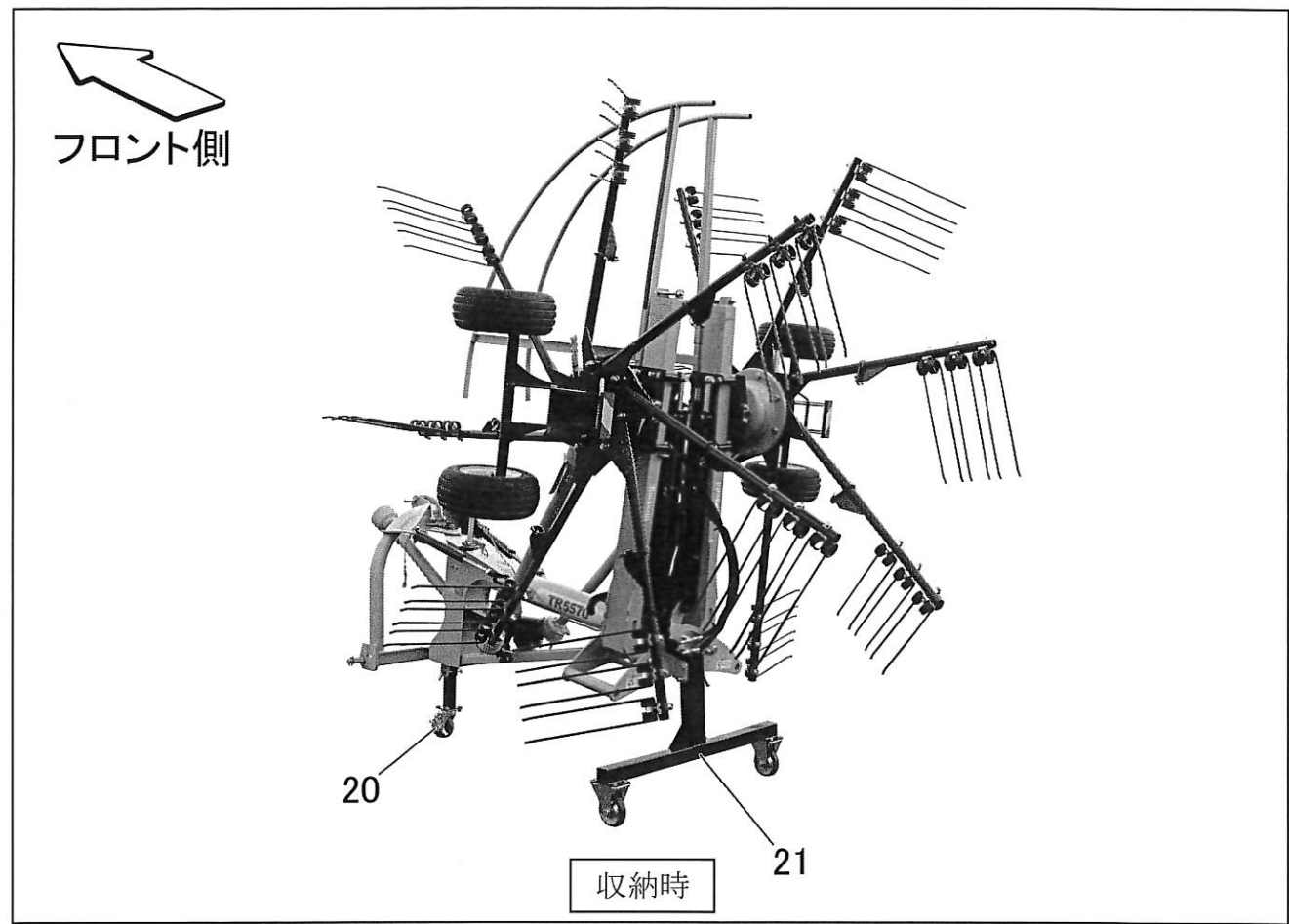
番号	名 称	は た ら き
1	マスト	トラクタと本機を連結します。
2	メインフレーム	マストと連結し、フリースイング機構となります。
3	アウターシリンダ	機体の最大スイング角を規制します。
4	アーム	ロータディスクを支持し、開閉します。
5	油圧シリンダ	トラクタからの油圧操作により、アームを開閉・伸縮します。
6	ロータディスク	タインパイプを支持し、回転します。
7	タインアーム	タインを支持します。
8	タイン	牧草などを集草します。
9	タイヤ	本機を支えます。
10	シャジク	タイン高さ調節に使用します。
11	ユニバーサルジョイント A	トラクタからの動力をミッションへ伝えます。
12	ミッション	トラクタからの動力を2方向に伝えます。
13	ユニバーサルジョイント B	ミッションからの動力を左右のローターディスクに伝えます。(クラッチつき)
14	ロープ	ロックカナグの解除に使用します。
15	ロックカナグ	アームの開閉をロックします。

各部の名称とはたらき



番号	名 称	は た ら き
16	スイングロック	メインフレームがスイングしないよう固定します。
17	セレクトタ	作業幅を調節します。
18	ガード	タインの回転領域をわかりやすくします。
19	カムレバー	タインの上がるタイミングを調整します。

各部の名称とはたらき



番号	名 称	は た ら き
20	スタンドマエ	トラクタとの着脱時及び保管時に使用します。
21	スタンドウシロ	トラクタとの着脱時及び保管時に使用します。

トラクタへの装着

！ 警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを止め、PTOクラッチを切ってから確実に取付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります。

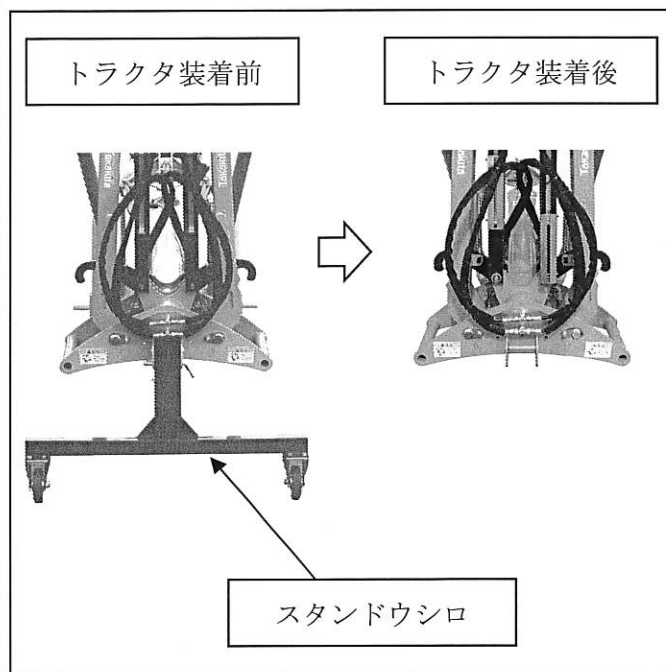
1. 3点リンケージへの装着のしかた

◆3点リンケージの装着順序

左のローリンク、右のローリンク、トップリンクの順序で取付けてください。

◆スタンドの格納、取り外し

- ①3点リンケージの取付け後、ローリンクを上げて機体を持ち上げてください。
- ②スタンドマエを格納してください。
- ③スタンドウシロを取り外してください。

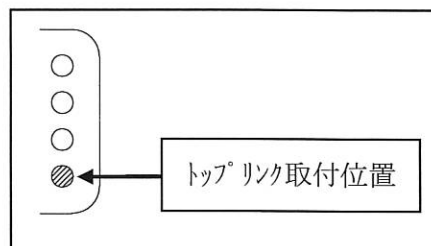


注意

スタンドウシロを取り付けた状態でアームを開かないでください。スタンドウシロとティンアームが干渉し機体が破損します。

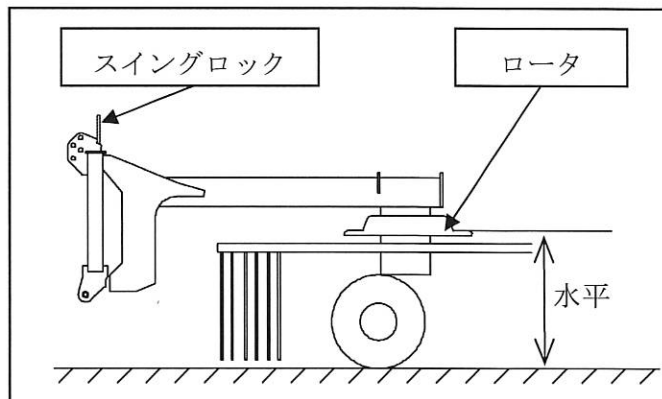
◆トップリンクの連結穴位置

トラクタ側のトップリンク連結位置は、機体が十分持ち上がるよう、トップリンクが最も角度がつくように最下部に取付けてください。



◆トップリンクの長さ調整

- ①スイングロックを作業位置にしてください。
- ②平坦な場所で3点リンケージを最も下げた状態にしてください。
- ③ロータ部が水平になるように、トップリンクの長さを調整してください。



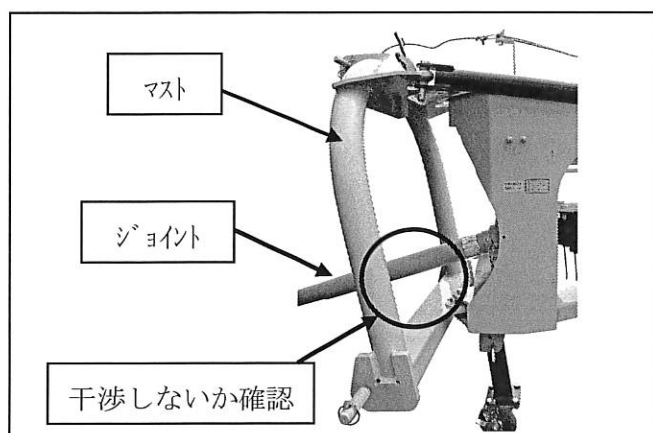
トラクタへの装着

◆チェックチェーンで横振れ調整

運搬時および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心にロワーリンクが左右に2～3 cm 程度の振れになるように調整してください。

注 意

3 点リンケージを最上げした際、ユニバーサルジョイントとマストが干渉しないことを確認してください。干渉する場合は上げ規制を行なってください。



2. ユニバーサルジョイントの取付け

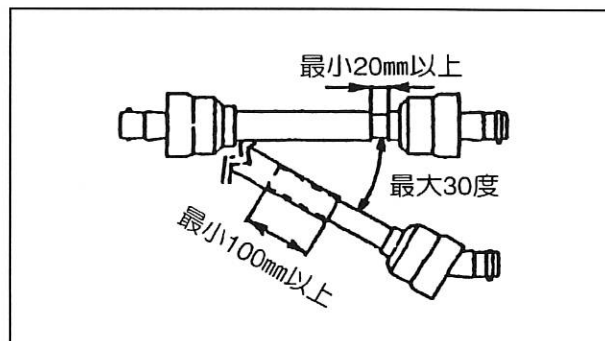
◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力軸に取付けてから、トラクタ PTO 軸に確実に取付けてください。

◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイント長さは、3 点リンケージによる本機の上昇・下降により変化します。先に、ジョイント長さが長すぎないかを確認してください。

長すぎるときは、下図の寸法が確保できるように切断してください。



注 意

ユニバーサルジョイントを切断するときは、ジョイントの取扱説明書に従ってください。

また、作業時のジョイント角度は、最大30度を超えないよう調整をしてください。30度を超えるとジョイント破損の原因となります。

◆カバー回転止めチェーンで固定

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

トラクタへの装着

3. 油圧ホースの接続

◆接続は残圧を抜いてから

- ①トラクタのエンジンを停止し、トラクタの油圧操作レバーを動かして残圧を抜いてください。
- ②油圧ホースをトラクタの複動カプラに接続してください。

◆油圧ホースの収納

油圧ホースをトラクタから外したときは、必ず付属のゴムキャップをカプラに差込み、傷を付けないようにしてください。

4. フロントウェイトの取付け

フロントウェイトをトラクタの指定された部分に取付けてください。



警告

- トラクタの前輪にかかる荷重が、総重量の20%以上あることを確認してください。
- 不足する場合はフロントウェイトを取付け、前輪分担荷重を20%以上確保してください。

これを怠ると傷害発生の恐れがあります。

運転に必要な装置の取扱い

1. アームの開閉について

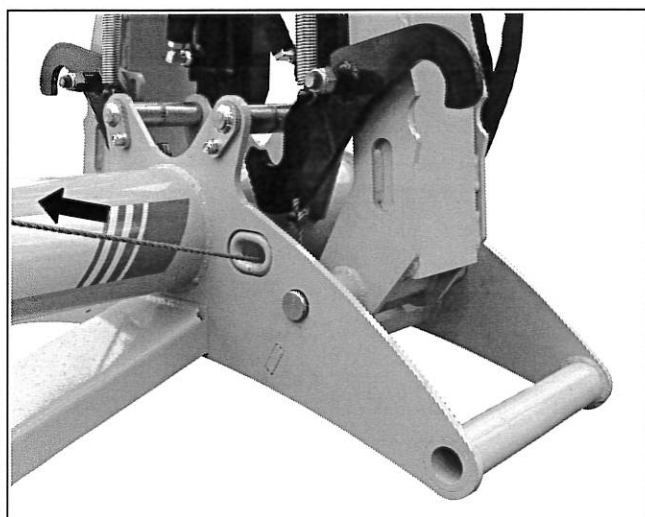
トラクタの油圧を操作してアームを開閉します。

アームの開閉は、必ずスタンドウシロを取り外した状態で行ってください。

◆開くとき

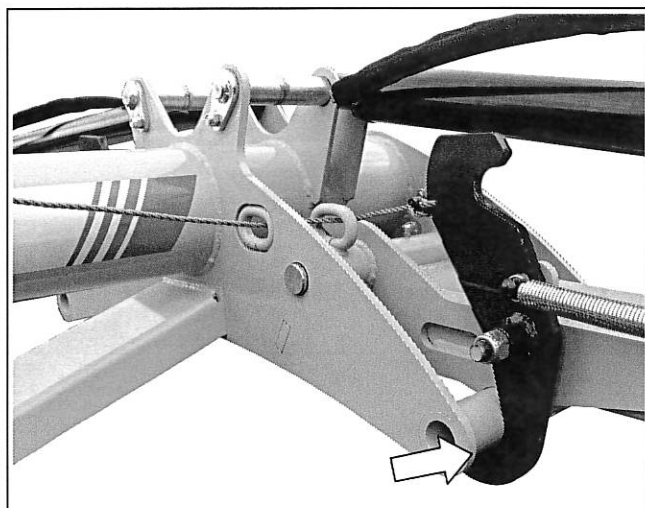
①トラクタの3点リンケージを操作し機体を持ち上げ、開いたときにタイヤが地面に接しないようにしてください。

②ロープを引いてロックを解除し、油圧を操作してアームを開いてください。



③両側のアームが開いたらロープを放してください。

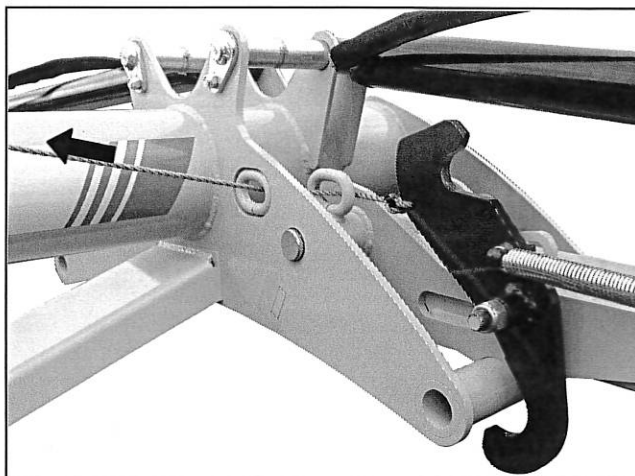
④アームが開ききったらロックがかかったことを確認してください。



◆閉じるとき

①トラクタの3点リンケージを操作し機体を持ち上げ、タイヤが地面に接しないようにしてください。

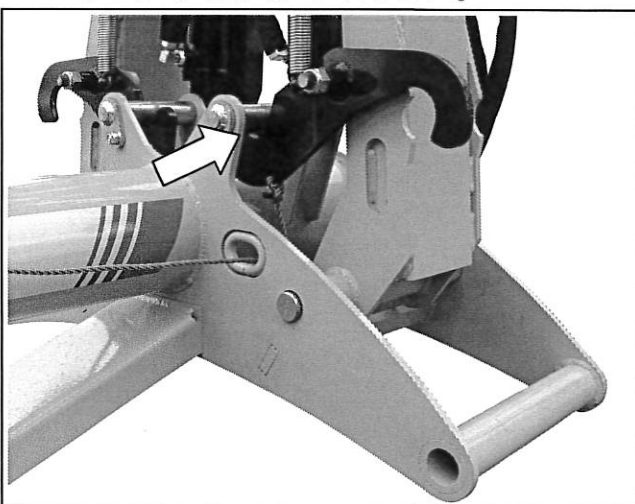
②ロープを引いてロックを解除し、油圧を操作してアームを閉じてください。



③両側のアームが動き出したらロープを放してください。

④アームが閉じきりロックがかかったことを確認してください。

⑤アームが開く側へ油圧を流し、ロックをしっかりとかけてください。



⚠ 警告

①アームを開閉する場合は周りに人がいないことを確認してから操作してください。

②アームの開閉後は必ずロックがかかっていることを確認してください。

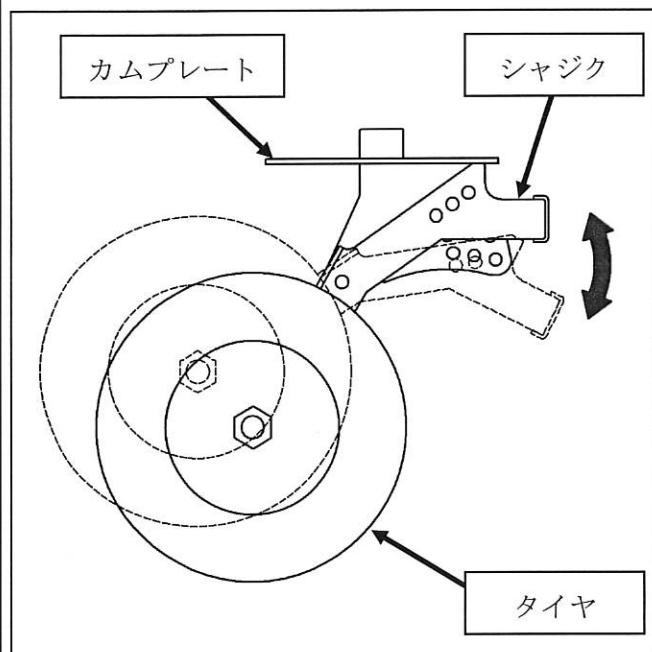
これを怠ると傷害発生の恐れがあります。

運転に必要な装置の取扱い

2. タインの高さ調整

収穫物や圃場状態に応じてタイヤ高さを変更し、タインの地上高を調整することができます。

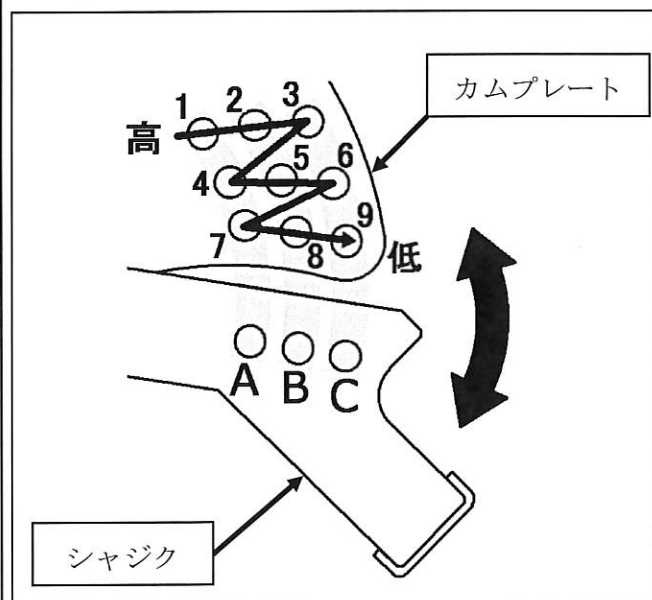
トラクタの油圧を操作して、タイヤが地面から離れるよう機体を持ち上げてください。機体下がらないよう、トラクタの油圧をロックしてください。



◆ L型ピンの高さ調整

シャジクを動かし、カムプレート穴とシャジク穴を合わせて L 型ピンを差し込んでください。

※約 7 mm のピッチで高さ調整が可能です。



タイン高さ	カムプレート穴
高 低	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9

! 警告

タイヤの高さ位置変更の時は必ずトラクタのエンジンを止めてから行ってください。これを怠ると傷害発生の恐れがあります。

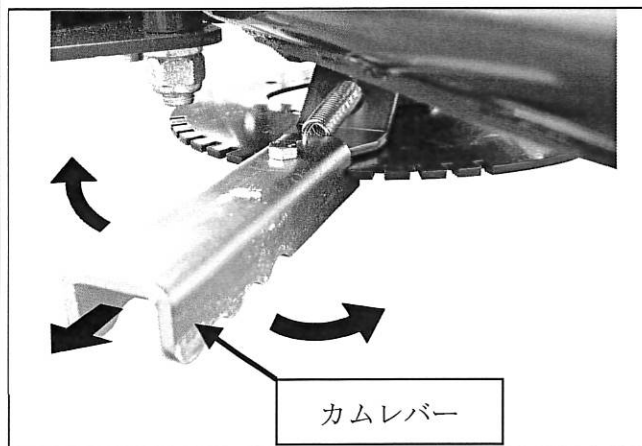
運転に必要な装置の取扱い

3. カムレバーの取扱い

カムレバーの位置を変更し、草の種類や量に合わせてタインの上がるタイミングを調整できます。

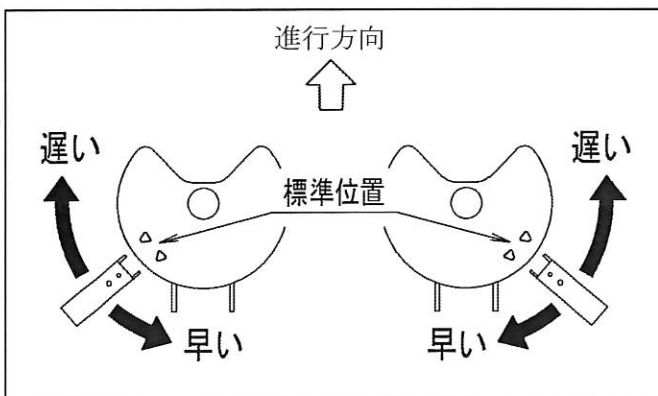
カムレバーを手前に引いてロックを外し、所定の位置まで回してください。

カムレバーは確実に所定位置に入るように押し込んでください。



- ・ ウィンドロの端が集まりきらない時は、タインの上がるタイミングを遅くしてください。
- ・ 集草した草をタインが持ちまわるときは、タインの上がるタイミングを早くしてください。

左右のカムレバーを同じ位置に合わせて下さい。



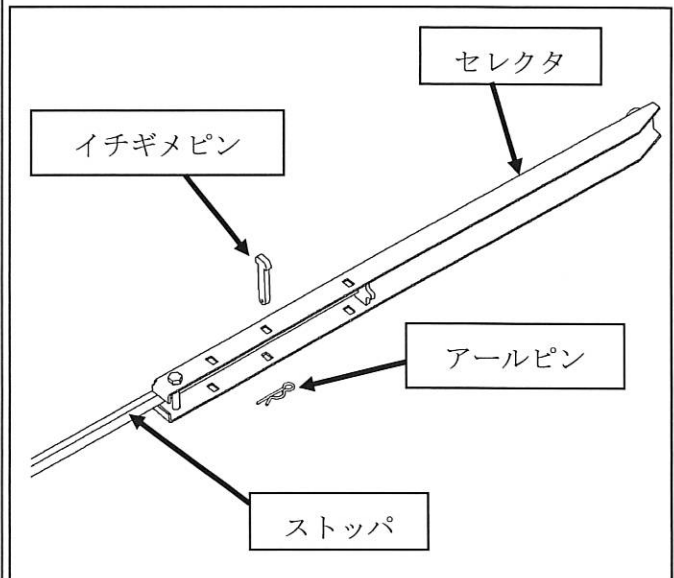
警告

カムレバーの位置変更は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行ってください。
これを怠ると傷害発生の恐れがあります。

4. 作業幅の調整

作業幅は、セクタとイチギメピンによって3段階に調整できます。

作業幅は左右同じ位置に調整してください。
(詳細はP 20 参照)



注意

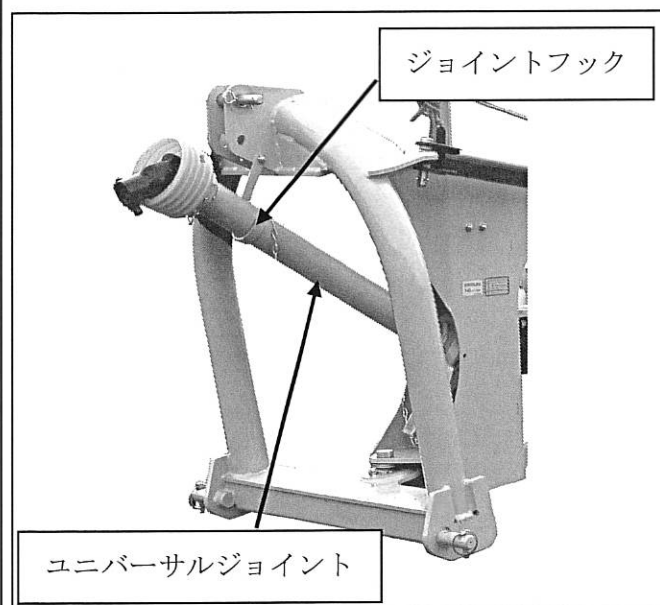
この調整は、「アームを折りたたんだ状態」または「作業幅を最も狭くした状態」で行ってください。

(イチギメピンがセクタに差し込めない場合があります。)

運転に必要な装置の取扱い

5. 収納時のジョイント位置

ユニバーサルジョイントをトラクタより外したときは、マストについているジョイントフックにかけてください。

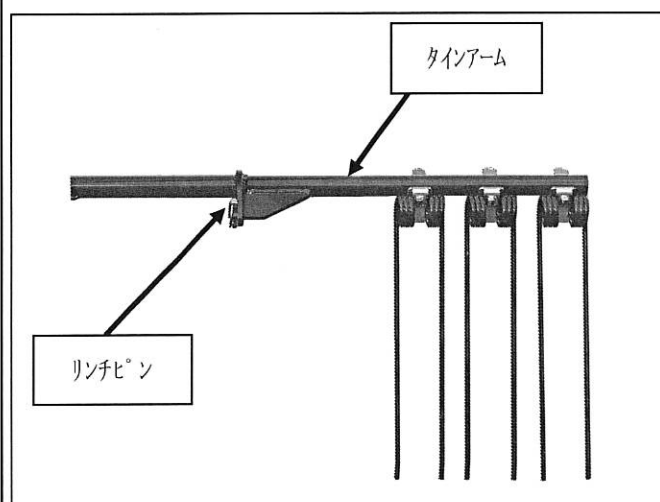


6. 収納時のタインアームの取扱い

機体を倉庫などに収納する際や運搬する際、タインアームを取り外し機体高さを低くすることができます。

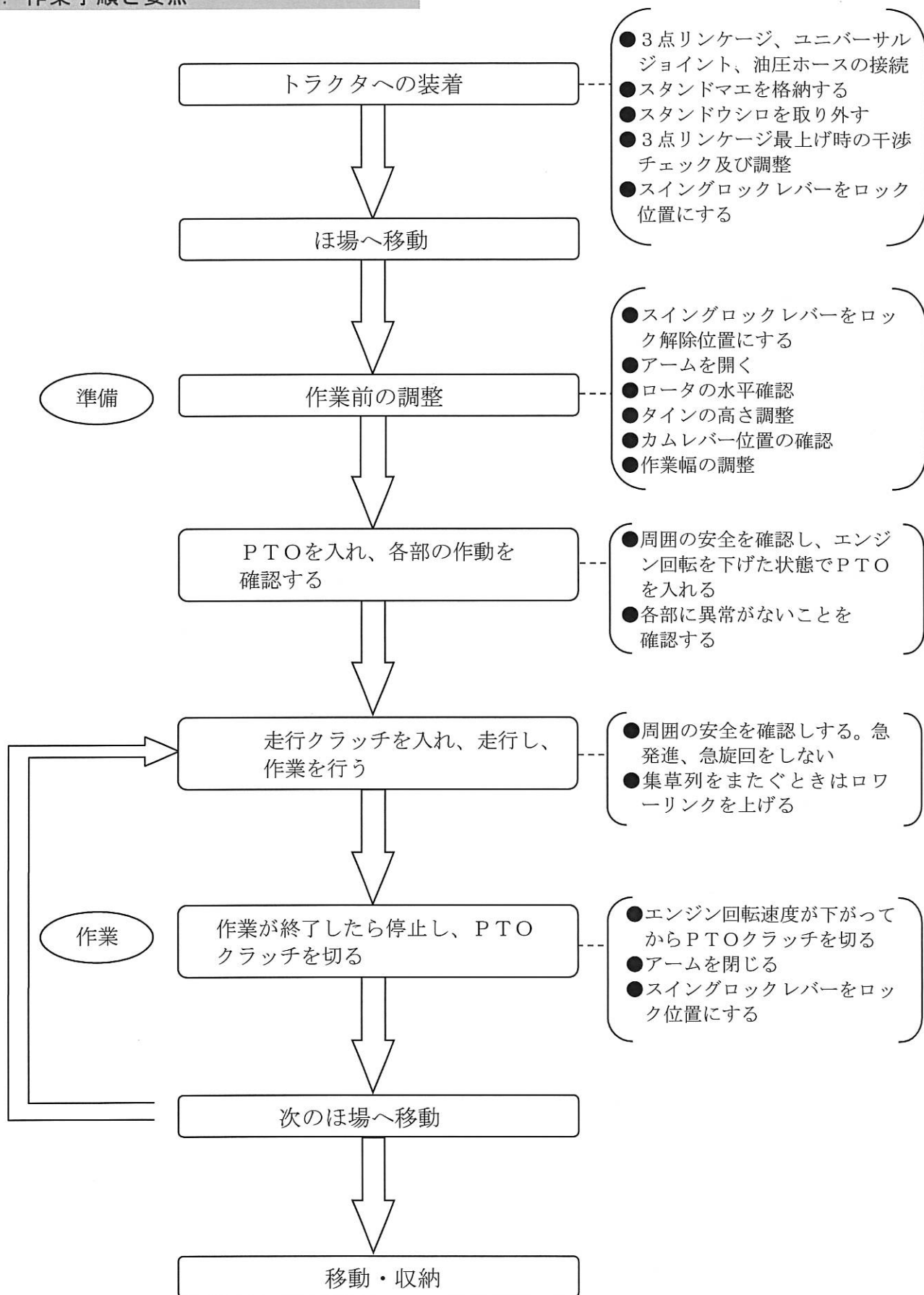
◆タインアームの取り外し要領

タインアームのリンチピンを抜いてタインアームを外します。



作業方法

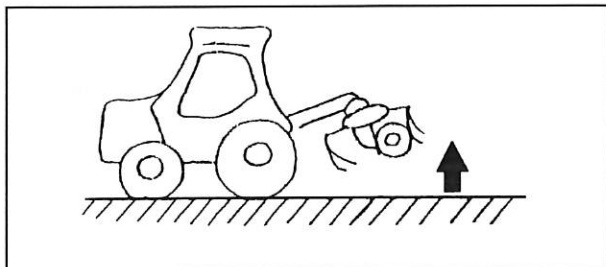
1. 作業手順と要点



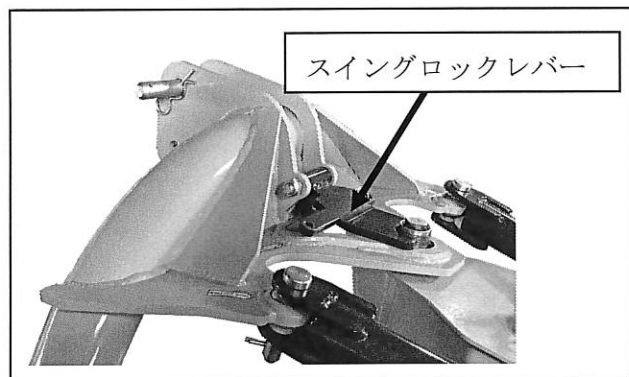
作業方法

2. 移動をするときは

移動するときは、必ずアームを閉じ、ローリンクを操作して本機を十分な高さまで上げてから走行してください。



また、移動時は必ずスイングロックレバーをロック位置に倒してから移動するようにしてください。



警告

- ①移動するときは、必ずアームを閉じてください。
- ②本機を装着しての運転は、道路およびまわりの条件に適した速度で行ってください。
絶対に急発進・急ブレーキ・急ハンドルは行わないでください。
- ③カーブを曲がる時は、重心の変化や機械の幅に十分注意してください。
作業姿勢のまま移動すると、人に重大な傷害を加えたり、物損事故を起こす恐れがあります。
- ④スイングロックレバーを移動ポジションにし必ずロックしてください。ロックしない状態で移動すると機体が左右にスイングし危険です。また、機械の破損の恐れもあり絶対に行わないでください。

3. 作業時の調整

◆タインの高さ調整

- シャジクのL型ピンの差込穴を変更してティン地上高を調節してください。
(詳細はP.16参照)
- ほ場条件に合わせてティン高さを変えてください。

ほ 場 条 件	ティン地上高
一 般 ほ 場	10～20mm
凸凹の激しいほ場	30～40mm
軟 弱 ほ 場	30～40mm

- 作業時、ロータが水平になるようにトップリンク長さを調節してください。

◆カムレバーの位置変更

集草は、草量に応じてカムレバーの位置を変更してください。
(詳細は17ページ参照)

警告

カムレバーの位置変更は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行ってください。
これを怠ると傷害発生の恐れがあります。

◆使用回転速度

	集草
PT0 回転速度	400～540 min ⁻¹ (rpm)
作業速度	6～9 km/h

※草量が多い場合は、作業速度を下げて使用してください。

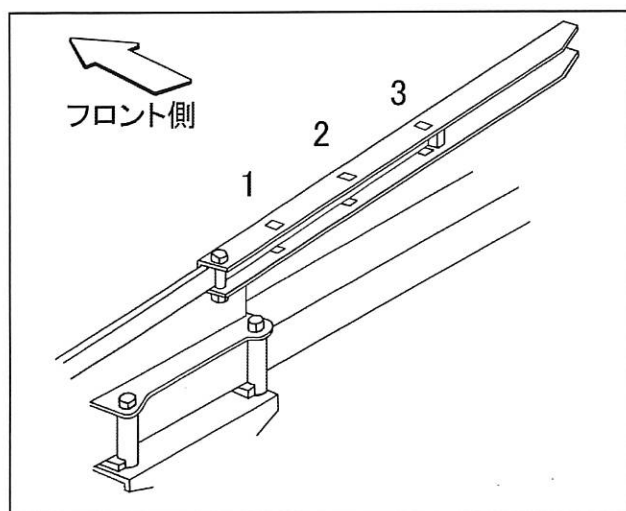
作業方法

◆作業幅の調整

作業幅はウィンドローの幅に合わせて調整してください。

作業幅は左右同じ位置に調整してください。
(詳細は17ページ参照)

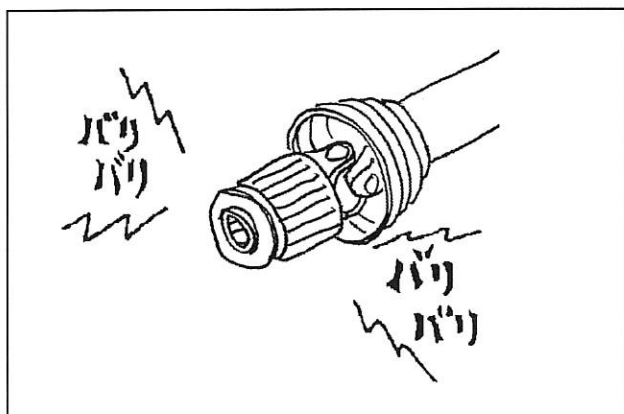
穴	作業幅 (m)	集草幅の目安(m)
1	5.5	1.5
2	5.3	1.3
3	5.0	1.0



4. 作業開始

◆ジョイントクラッチが作動したら PTO を切る

ユニバーサルジョイントのクラッチは、タインに過負荷がかかったときに作動し、本機の損傷を未然に防ぎます。



注意

5秒以上作動させないでください。

クラッチが作動したらPTOを切り、エンジンを止めてから原因を取り除き、作業を再開してください。

警告

①作業中は、まわりに人や動物を近づけないでください。石などがタインで飛ばされ、人などに当たるおそれがあり大変危険です。

②PTO回転中は、ロータには近づかないでください。触れると巻き込まれる恐れがあり大変危険です。

これを守らないと死亡あるいは重大な傷害発生の恐れがあります。

5. 傾斜地での作業

◆必ず等高線に直角方向に走行・急ハンドル禁止

斜面に対し直角方向に走行し、旋回は速度を落とし急ハンドルを切らないでください。

警告

斜面の等高線に平行、または斜め走行や急旋回は横転の危険がありますので、決して行わないでください。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。



警告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
- 点検・整備をするときはP T Oを切り、エンジンを停止させ、回転部が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項 目	内 容	参照ページ	チェック
1	ユニバーサルジョイント	取付けが完全か	1 3	
2	各部のボルト・ナット	緩み、ガタつきがないか	—	
3	機体の姿勢	正しい姿勢になっているか	1 2	
4	タイン	欠損がないか	—	
5	タイヤ	空気圧は適正か	2 3	
6	各部への注油・グリスアップ	各部へのグリスアップは十分か	2 4～2 5	

点 検 メ モ

簡単な手入れと処置

警告

- ①各部の調整をするときは、PTOを切り、エンジンを停止させて回転部が完全に止まってから行ってください。
- ②取外したカバー類は必ず取付けてください。

1. ミッション給油

使用100時間ごとに全量を交換してください。

- ・使用オイル ギヤオイル#90
- ・給油量 0.5ℓ

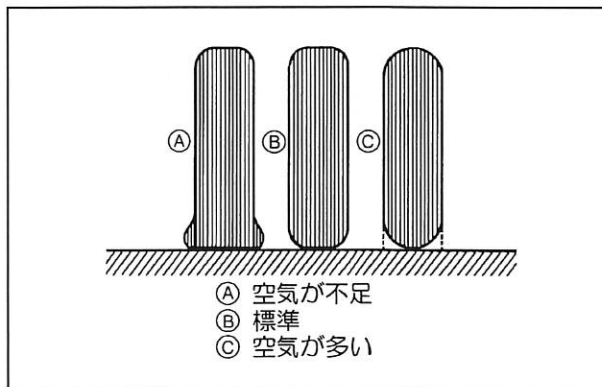
2. タイヤの空気圧の調節、及び摩耗、損傷

◆作業前にはタイヤの空気圧を確認してください。

警告

- タイヤの空気圧は取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。
空気の入れ過ぎは、タイヤ破損の恐れがあり死傷事故を引起す原因になります。
- タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。
タイヤ破損の恐れがあります。
- タイヤ・チューブ・ホイールなどの交換・修理は、十分な整備施設をもち、特別教育を受けた人がいる
タイヤショップ等の専門店で依頼してください。

外観からタイヤの空気圧を判断する目安は次の通りです。



◆本機に装着しているタイヤのサイズと規定空気圧

- ・タイヤサイズ
15×6.50-8 4PR
- ・空気圧
160 kPa 以下
(1.6 kg/cm² 以下)

3. 長期格納時の手入れ

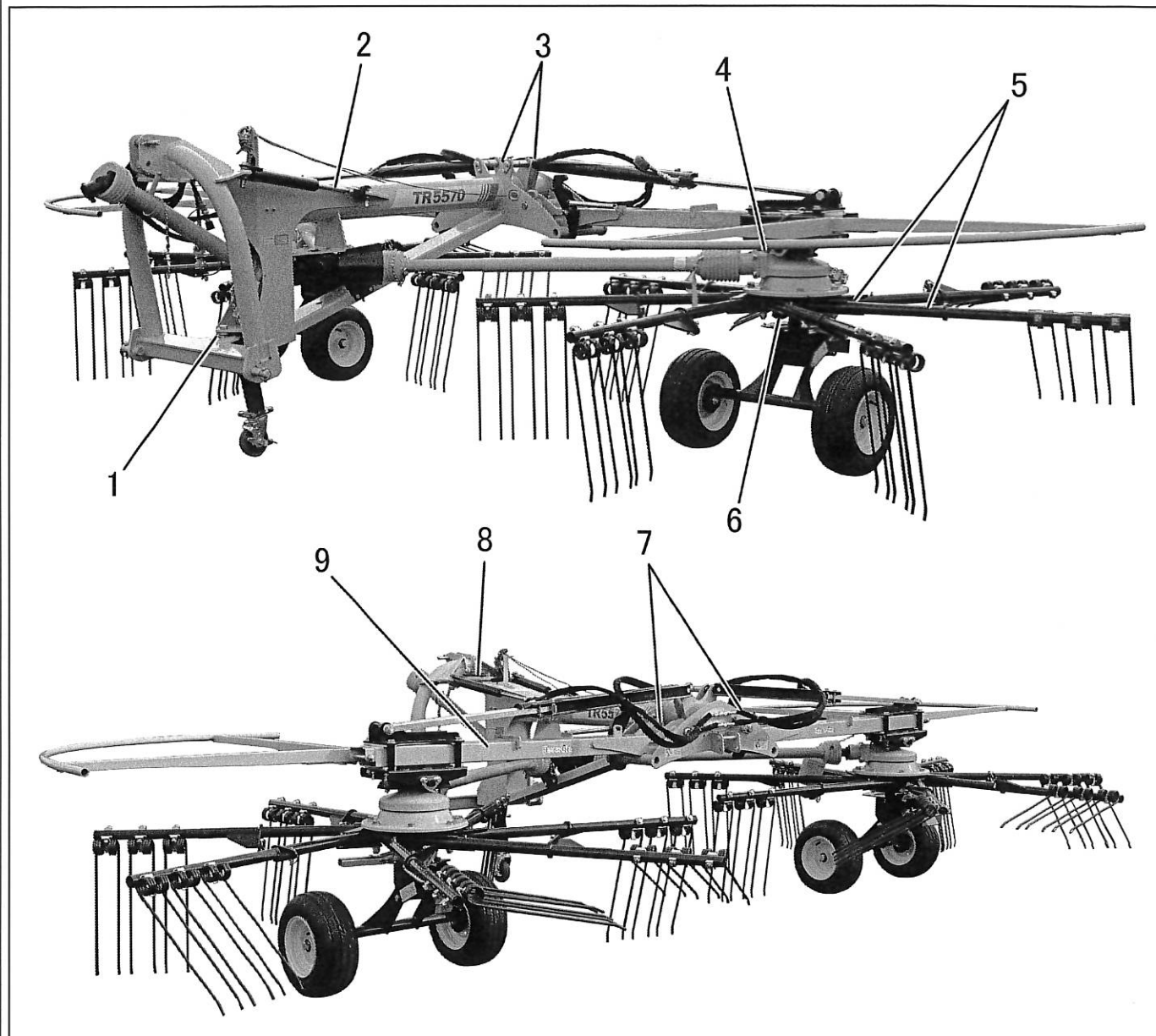
作業が終了したら、次期の使用時に備えかつ、末長くご利用いただくためにも十分な手入れを行ってください。

- 水洗いをして付着した泥やほこりなどを落とし、巻き付いた草などを取除いてください。
- 乾燥後は、各回転部、摺動部には十分注油し、錆びないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、補修塗料を塗り、錆が出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいる所は締めて下さい。
- 各部の点検を行い、不良部は部品交換や修理を済ませておいてください。
- 格納する場所は、雨やほこりのかからない屋内に保管してください。
- 格納は平坦な所で保管してください。

簡単な手入れと処置

4. 各部への給油

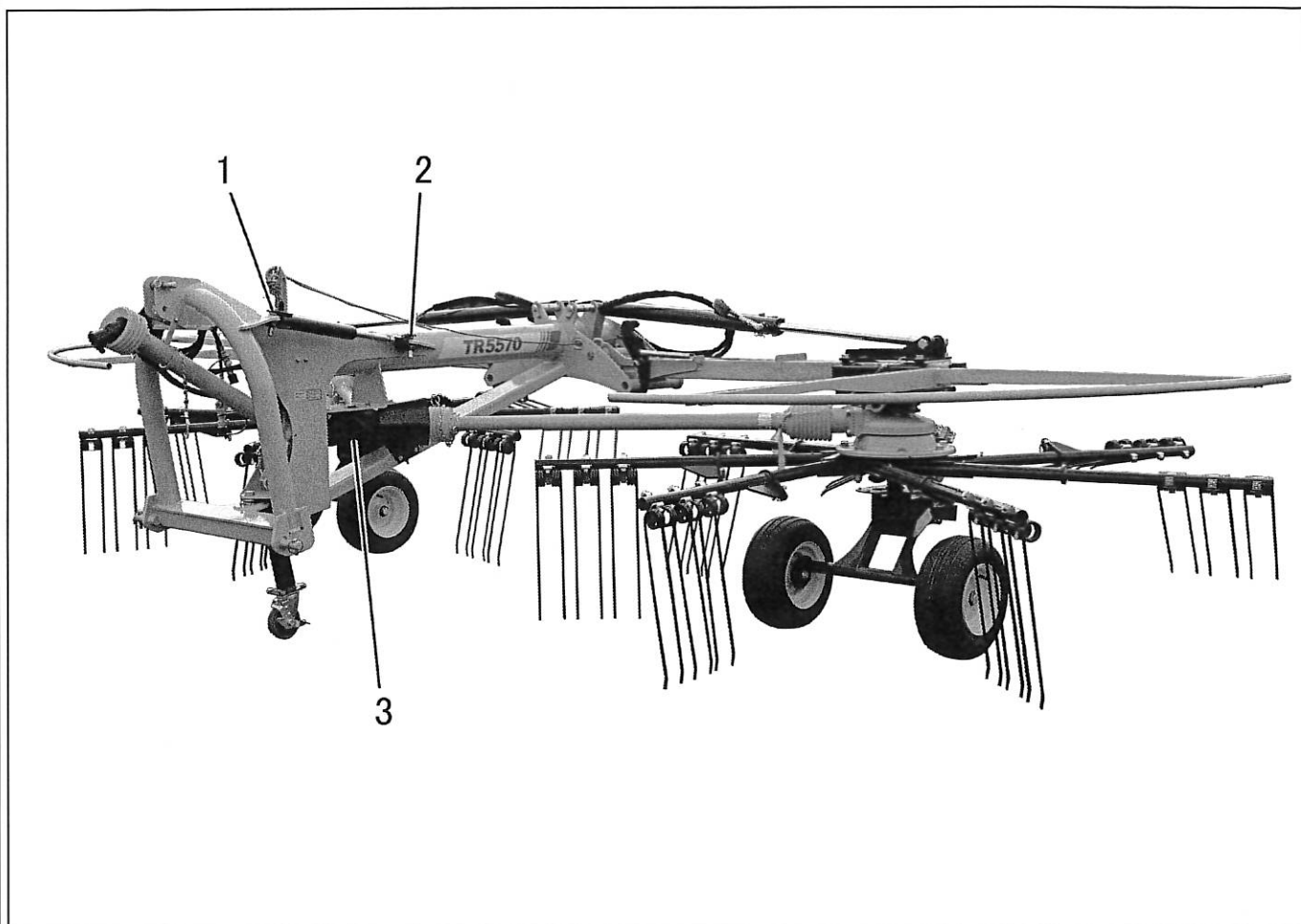
図表に従って、各部にグリスアップを行ってください。



No.	グリスアップ箇所	グリスアップ時間
①	マスト支点	作業前
②	アウターシリンダ軸(左右各1)	〃
③	シリンダ支点(左右各1)	〃
④	ギヤケース(左右各1)	〃
⑤	タインアーム(左右各7)	〃
⑥	カム(左右各1)	〃
⑦	アーム支点(左右各1)	〃
⑧	フリースイング部	〃
⑨	ロータスライド部(左右)	〃

簡単な手入れと処置

図表に従って、各部に注油を行ってください。



No.	注油箇所	注油時間
①	マスト側シリンダ支点(左右各1)	作業前
②	フレーム側シリンダ支点(左右各1)	"

No.	オイル交換箇所	交換時間
③	ミッション	100

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ページ
●かき残しがある	●ロータディスクが水平でない	●トップリンクを調整する	1 2
	●タインと地面のスキ間が広い	●シャジクの高さを調整する	1 6
●草が持ち回る	●カムレバーの位置が適切でない	●カムレバーの位置を調整する	1 7
●作業機の持ち上げ量が足りない	●トップリンク位置またはリフトロッド位置が悪い	●トップリンク位置またはリフトロッド位置を確認する	1 2

付 表

1. 主要諸元

品 名	ツインレーキ		
型 式	TR5570		
装 着 方 法	3点リンク直装式 (カテゴリⅡ) 油圧取出：複動1系統		
駆 動 方 法	トラクタPTO駆動		
適応馬力 (kW{ps})	51.5～88.3 {70～120} トラクタ重量 3000kg 以上		
機 体 寸 法	最大作業時		収納時
	全 長 (mm)	2990	3240
	全 幅 (mm)	5700	2250
	全 高 (mm)	1360	3000
質 量 (kg)	635		
作 業 幅 (mm)	5000, 5300, 5500 (3段階)		
作 業 速 度 (km/h)	5～8		
作業能率 (分/10a)	2～3		
タ イ ヤ サ イ ズ	15×6.50-8 4PR		

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

部品名称	部品コード	員数
タイン	09002-0621-811	4 2本/台

3. オイル

給油箇所	使用オイル	給油量
ミッション	ギヤオイル #90	0.5ℓ